

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	選択		
体育学部	教授	藤本 淳也				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概	要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
		平成25年～	特に、演習では、学生個人がテーマを決めて発表する研究報告を課し、課題の発見、情報収集、分析、まとめ、プレゼンテーションの一連のプロセスの習得を目指した。フィールドワークは、「Jリーグ」と「なでしこリーグ」の複数クラブの観客調査(実施、集計、報告書作成)を毎年実施した。授業評価は、理論理解と共に実践力を付けるために、フィールドワークと企画書作成を重視した。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
		平成25年～	スポーツマーケティングと演習では、一般新聞、日経流通新聞、Sport Business Journalなどを中心に、国内外の最新情報を教材として用いた。また、研究レビュー実習のため、国内外の研究誌とビジネス誌から主要な論文を抜粋し、参考リストを作成した。教科書は、著書である「スポーツマーケティング」を用いた。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
		平成25年～	教育方法や教育実践に特化した発表や講演は行っていない。しかし、専門分野に関する講演の中で、その人材育成の重要性と方法に関連して演習や担当授業の内容を紹介した。また、研究室のFacebookページの中で実践している教育内容を随時公開した。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
		平成25年～	特に、演習において、スポーツビジネス界で活躍する方々との交流を重視している。毎年、プロスポーツチームスタッフを招いて1泊研修セミナーを企画し、同じ専門分野の他大学の学生と共に学び、ディスカッションし、交流する場を設けた。			
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
「IT時代のスポーツビジネス」「サポーター組織」「スポーツエージェント」「スポーツ・スポンサーシップ」「スポーツビジネスと株式市場」/21世紀スポーツ大辞典	中村敏雄ほか編著	20頁	大修館書店		平成27年4月	
「スポーツスポンサーシップ」/スポーツ産業論第6版	原田宗彦編著	15頁	杏林書院		平成27年4月	
「プロスポーツの現状」/スポーツ白書	笹川スポーツ財団編	4頁	笹川スポーツ財団		平成29年4月	
「オリンピック・パラリンピックにおける権利ビジネスの展開」/よくわかるスポーツマネジメント/	柳沢和雄ほか編著	2頁	ミネルバ書房		平成29年4月	
「サッカー専用スタジアムと試合臨場感」/スタジアムとアリーナのマネジメント	早稲田大学スポーツナレッジ研究会編	15頁	創文企画		平成29年4月	
「大学スポーツ振興のための資金調達」/大学スポーツの新展開	伊坂忠夫、藤本淳也ほか編著	15頁	晃洋書房		平成30年3月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
なでしこリーグ所属チームのチームブランドに関する研究：ブランド連想を用いたチーム間比較分析	長谷川健一、藤本淳也	大阪体育大学紀要	45	77頁～86頁	平成26年3月	
マスターズ・シンクロナイズドスイミングの課題と可能性に関する一考察：現状分析と実施者へのインタビュー調査を用いて	堀井樹理、藤本淳也	大阪体育大学紀要	45	87頁～102頁	平成26年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
実践報告	スポーツチームの地域転入と「まちづくり」の関連性：新ホームアリーナ利用者の地域意識の縦断的分析から	単 藤本淳也	SSFスポーツ政策研究	3	88頁～88頁	平成26年4月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
選択	平成27年12月	日本スポーツマネジメント学会第8回大会	高校サッカー選手のシューズ保有・使用の現状とシューズブランド意識	早稲田大学	藤本淳也	
選択	平成27年12月	日本スポーツマネジメント学会第8回大会	Vプレミアリーグの観戦者特性に関する研究	早稲田大学	西野祐司、藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	観戦者が知覚するスタジアム雰囲気	立教大学	和田憲明、藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	大学スポーツチームファンの特性とその変化に関する研究	立教大学	藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	スポーツチーム支援企業社員のチームへの態度	立教大学	西野祐司、藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	eスポーツ視聴者の特性に関する研究	立教大学	姫 科凡、藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	高校サッカー選手のアパレルブランド志向に関する研究	立教大学	大西真波、藤本淳也	
選択	平成29年7月	日本スポーツ産業学会第26回大会	ラグビートップリーグ観戦者の特性	立教大学	増山渚、藤本淳也	
選択	平成29年11月	オーストラリアニュージーランドスポーツマネジメント学会2017	Brand Images of Soccer Shoes in Youth Players	Griffith University	Junya Fujimoto	
選択	平成27年12月	日本スポーツマネジメント学会第8回大会	トップリーグラグビーファンの研究：Jリーグスタジアム観戦者調査との比較から	法政大学	西尾健、藤本淳也ほか	
選択	平成26年12月	日本スポーツマネジメント学会第7回大会	スタンドからフィールドまでの距離がJリーグ試合観戦者の試合臨場感に与える影響に関する研究	広島大学	松浦雄樹、藤本淳也	
選択	平成28年7月	日本スポーツ産業学会第25回大会	バレーボールV・プレミアリーグにおける試合観戦者に関する研究－堺ブレイザーズ支援企業の社員マーケットに注目して－	順天堂大学	西野祐司、藤本淳也	
選択	平成26年6月	Asia Sport Management Conference 2014	The Effect of Attitude toward Facebook Page of the Professional Baseball team on Team Loyalty and Intention to Attend Games.	台湾	Junya Fujimoto	
選択	平成26年6月	Asia Sport Management Conference 2014	Development of a Scale to Measure the Team Mascot Image in Professional Sport	台湾	Kenichi Hasegawa, Junya Fujimoto	
選択	平成27年8月	Asia Sport Management Conference 2015	Study on the influence that of the distance from the stands to the field gives to on the "game presence" experienced by of J-League match spectators	マレーシア	Yuki Matsuura, Junya Fujimoto	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
選択			選択			
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
平成29年4月～現在	日本スポーツマネジメント学会理事					
平成19年4月～平成29年3月	日本スポーツマネジメント学会運営委員					
平成19年4月～現在	日本スポーツ産業学会運営委員					
社会的活動						
平成25年4月～現在	堺市スポーツ振興審議会（委員）					
平成27年4月～現在	日本フライングディスク協会監事					
Ⅳ 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
平成29年4月～平成7年3月	スポーツ局準備委員会（副委員長）					
平成12年4月～現在	大学評議会（委員）					
平成18年4月～現在	広報委員会（委員長）					
平成28年4月～現在	研究ブランディング事業部会					

特別プロジェクト活動	
平成28年4月～現在	学長補佐（ビジョン推進担当）
平成26年4月～平成27年3月	ビジョン検討委員会（委員長）
平成26年4月～平成28年3月	開学50周年記念組織委員会、記念事業実施委員会（委員長）
平成26年12月～現在	学生募集戦略会議（議長）
平成28年4月～平成30年3月	DASH運営審議会（委員）

V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	①アルティメット、②アメリカンフットボール 部	2. 役職	①1994～監督・部長 ②2012～部長	3. 部員数	120 人
4. 現場指導の頻度	⑤ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	2 回	延べ日数：	8 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所	
	全日本学生アルティメット選手権大会		9月下旬	東京	
	関西学生アメリカンフットボールリーグ		春シーズン、秋シーズン	大阪または兵庫	
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）					
開催期間	大会名		成 績	場 所	
2017年9月	全日本学生アルティメット選手権大会		女子：優勝	東京	

VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考